

質問者



村井 慶太郎 議員

Q

敬老の日に記念品を

A

贈る考えはありません

問

敬老の日が先日
終わり、文化セン
ターでの催しを見に行っ
た人は、今年は入場者も
少なく、笑いも余りなかつ
たと聞く。

この催しを行うための
費用は約200万円要る
そうだが、大切な税金を
もつと有効に活用しても
らいたい。

私の周りのお年寄りは、
「元氣な年寄りはい
ても見に行けるが、我
々足の悪い年寄りや病氣
の年寄りは見に行きたく
ても見に行けんのよ。」
こういう声を聞くが、

今の65歳を超えるお年寄
りは戦後の日本を支え、
松前町を支えてきた人々
なのだ。

その人たちに敬意を払
う敬老の日に何もないと
はいかがなものか。催し
に行けないようなお年寄
りにも敬老の日に何か記
念品のようなものをあげ
たいが町の考えは。

答

白石町長

高齢者の皆さんにとつ
て大事なことは、いかに
健康を維持して長生きを
してもらおうかということ
で、町ではこのほかにも
健康検診事業の無料化の
拡大とか、高齢者大学の
開催など、高齢者の皆さ
んを対象とした事業の拡
充を図ってきました。今
のところ敬老の日にごう
いとお笑いの席に出席で
きなかつた方に一律記念
品を贈るといった考えは
持っていません。

問

町道筒井徳丸線は
工期に間に合うのか

完成予定は平成22年度
末となっており、着手か
らはや11年が過ぎている
が、いまだに用地買収や
立ち退きの話がなかなか
前に進んでいない状況だ
と聞くが、完成予定まで
あと2年余りしかないが、
この大事業が果たして平
成22年度末に間に合うの
かどうか。着手前にもつ
と慎重に計画を立てるべ
きではなかったのか。

答

供用開始に向けて
現在推進しています
得能町づくり課長

町道筒井徳丸線の第2
工区は、22年度の供用開
始に向けて現在推進して
います。

用地については、平成
14年度から交渉を開始し、
現在における用地取得率
は面積ベースで約96%と
なっています。また、工
事については平成16年度
から着手し、現在の進捗
率は約36%、今年度の末
には72%になる予定であ
ります。

問

下水道工事の発注
方法は

下水道工事を発注して
おきながら、その路線の
住民との交渉がついてい
ないという理由で約25%
の減額があると言われた
下水道工事があると聞く
が、交渉がうまくいかな
いので減額するなど、こ
んな工事発注方法はいか
なものか。

答

変更せざるを得ない
事情が生じること
も
伊賀上下水道課長

下水道工事を含め土木
工事では、当初の想定と
異なる施工条件が発生し
たり、工事箇所の住民と
の調整の関係上、当初計
画を変更せざるを得ない
事情が生じたりすること
があります。

請負契約の変更を行う
場合には、町と請負業者
との間で工事請負契約書
や関係法令などの規定に
基づき協議をし、変更す
るようにしています。



平成22年の工期に間に合うのか・・・？